

第3回 五泉市総合計画市民まちづくり会議

日時：平成23年10月26日(水)
13:30~15:30
会場：五泉市福社会館 3階大会議室

～本日の流れ～

13:30 (1) あいさつ

13:35 (2) 説明

① 前回のふりかえり

② 9つの重要課題等における問題点と改善方法について(前回成果)
【資料1・2】

13:50 (3) 意見交換【100分】

～重点課題に対する意見の確認・掘り下げについて～

【40分】 ① 前回の意見の確認・共有・補足

全員で意見交換を行います。
前回の意見の内容を確認し、施策内容の補足などを行います。

..... 休 憩

【30分】 ② 「市民等の役割及び期待」について

各テーブルで委員の皆さんの専門分野を含む3つの重点課題についての
施策又は前回の意見(改善方法等)対して「市民等(市民・事業所・各種
団体やNPO)」は何ができるか、協力してできることは何かを考え、前
期計画の「市民等の役割及び期待」を修正します。

他のテーブルへ移動(成果と進行役はそのまま)

【30分】 ③ 他の班の意見内容について、確認・共有・補足

他のテーブルの意見内容について、確認と補足を行います。
※15分×2回

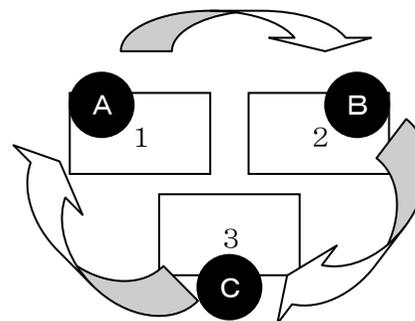
15:30 (4) ふりかえり

(内部用：(3)の②③について) 班構成と重点課題・該当施策一覧

テーブル	班	メンバー	重点課題	該当施策
1 岩渕	A (10人)	★高齢者／渡邊 照男・木津 輝子	①高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち	8. 高齢者の社会参加の推進
		子育て／山下 浩子	⑥魅力ある労働環境を提供できるまち	31. 雇用環境の整備と充実
		公募／高橋 哲・松川 徹也	⑧公共交通機関が利用しやすいまち	40. 公共交通機関の利用しやすい環境整備
2 土橋	B (6人)	★商業・工業／田中 弘・佐々木 克浩	④商業に活気のあるまち	29. 商業の活性化
		★まちづくり／横山 昇	⑤工業に活気のあるまち	30. 工業の活性化
		★農業／浅井 久美雄・桐生 忠教 教育／齋藤 多美子	⑦農業を育成するまち	32. 農産物のブランド化と安全で安心な食の推進 33. 安定した農業経営と担い手育成の支援 34. 農地、農村の環境整備 35. 森林資源の利活用と保全
3 金子	C (10人)	★保健・医療／五十嵐 久二・山下 文子 福祉／石本 一男・田邊 弘子	②安心して医療をうけることができるまち	18. 保健・医療・福祉体制の充実 19. 社会保障制度の円滑な運営の推進
		★公募／和泉 純二	③積雪にすばやく対応できるまち	25. 雪害対策の推進
			⑧税金が効率的に使われているまち	50. 行政評価の推進 51. 業務の効率化の推進 52. 組織・機構改革の推進 53. 人材育成の推進 54. 地域情報化の推進 55. 温暖化防止対策率先行動の推進

★：意見抽出本命 / 赤文字：女性

※30分検討した後、メンバーは他の2つのテーブルへ移動し、15分ずつ確認・共有を行う。成果とテーブル担当はそのまま固定。



重点課題	該当施策	前期計画における「取り組み」	問題点	改善方法	意見番号	前期計画における「市民の役割及び期待」
① 高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち	8. 高齢者の社会参加の推進	8-1. いこいの場、交流の場の充実	高齢者(特に男性)が参加しやすい場・機会が少ない 「老人クラブ」の名称、イメージが悪い	■男性高齢者向け会合の企画(町内単位で男の料理教室→調理ボランティアへ、「健やか元気塾」の活用) ■高齢者の能力(盆栽、陶芸、絵、知識)を活かした講座開設 ■学習・活動ニーズに合わせたメニューや施設の充実 ■名称変更によるイメージアップ	2 12 81 7,78,79	・積極的に交流の場に参加することが期待されます。 ・生活の中で培ってきた豊富な知識と経験を活かし、自ら活躍の場を広げることが期待されます。 ・ボランティア活動へ参加することが期待されます。
		8-2. 高齢者の就労支援		■高齢者の雇用促進(シルバー人材センターとの連携)	44,83	
		8-3. 活躍の場の充実	高齢者の社会参加やボランティアのあり方が不明確	■具体的な社会参加の仕組みづくり(JAの「お弁当サービス」の調理ボランティア、傾聴ボランティア、高齢者による託児所等)	1,6	
		8-4. 団塊ボランティアの育成	「高齢者」の階層幅が広すぎ(年齢、体力など)、対応も困難	■要介護・要支援等に限らず誰でも利用できる「場」(空家・空店舗活用)の提供 ■ボランティア育成のためのコーディネーターの養成 ■有償ボランティア化	8 10 82	
		その他	体力の低下に伴う支援の不足・不備	■高齢者の体力や生活状況に応じたきめ細かな対応	3	
			高齢者独居世帯の増加	■JAの「お弁当サービス」を夜も行う	9	
		⑥ 魅力ある労働環境を提供できるまち	31. 雇用環境の整備と充実	31-1. 若者定住とUJターン促進	市内に雇用の場が少ない	
31-2. 雇用情報の提供と就業相談の充実	女性に不利な就業環境			■女性向けトライアル雇用の推進、一定期間の助成	121	
31-3. 働きやすい就業環境の推進	労働環境に魅力がない 企業内保育・介護の不足・不備			■地場産業への行政支援の強化 ■中小零細企業における子育てや介護の支援体制づくり	45 11,16	
31-4. 企業誘致による雇用の場の拡大				■学校や企業、市との連携による雇用促進	115,124	
その他	若者の働く場が少ない			■「福祉の町」としての雇用・移住促進 ■市議と市職員の削減によるパート、アルバイトの増強	93,122 123	
⑧ 公共交通機関が利用しやすいまち	40. 公共交通機関の利用しやすい環境整備	40-1. 路線バスの維持・確保				・地球環境に負荷の少ない公共交通機関を利用することが期待されます。 ・コミュニティバス導入にむけた検討に積極的に参加することが期待されます。
		40-2. コミュニティバス等の導入の促進	ふれあいバスの利便性が悪い 高齢者にとってのバスの利便性が悪い	■現状(利用状況)による利便性の再検討 ■予約や利用方法の簡略化	53,133 52	
		40-3. 公共交通機関の利用の促進	公共交通機関全体の利便性が悪い	■利用者の意向調査に応じた再検討 ■高速バス運行時間との調整	51 52	
		40-4. 磐越西線の利便性の向上	JRの乗り継ぎが不便 利用者の減少	■JRとの交渉(磐越西線の新津駅での乗り換え等) ■観光との連携(SLとの連携、キャラクターバスの運行)	51,135 134	
		40-5. 上越新幹線の利便性の維持				
		その他	駅周辺の利便性(アクセス、連携)が悪い	■駅周辺の整備(駅の出入り口、駐車場等)	51	

重点課題	該当施策	前期計画における「取り組み」	問題点	改善方法	意見番号	前期計画における「市民の役割及び期待」			
④ 商業に活気のあるまち	29. 商業の活性化	29-1. 商店街活性化の推進	商店街に魅力・賑わいが無い	■店舗の改装と助成の推進 ■地域振興券の活用 ■市民が利用できるスペースの整備(物産館や道の駅との連携) ■五泉の特徴を活かした商店街づくり(観光との連携) ■歩行者天国やフリーマーケットによる市民参加の賑わいづくり ■大規模店舗の誘致(市内商店街と連携) ■歩いて楽しいまちなみづくり(歩道とアーケードの整備)	30 35 36、103、108 37、112 39 109、111 110	・地元商店街を積極的に利用することが期待されます。 <商店等> ・商店街の活性化に向けた組織づくりが期待されます。 ・交流イベントなどを主体的に企画・運営することが期待されます。 ・研修会や勉強会へ参加することが期待されます。 ・他業種との交流の場に積極的に参画することが期待されます。			
		29-2. 商店の経営安定と近代化の推進	「まちの駅」の利活用が不十分	■積極的なPR、作品展示ギャラリーとして利用 ■地域主導に向け商工会青年部への支援強化	32 40				
		29-3. 中心市街地の活性化の推進	空き店舗、空き地の増加	■起業支援(起業の場、講座開設等)	104				
		29-4. 暮らしやすい市街地環境の整備	旧ジャスコ跡地問題	■公園、避難所、コミュニティ施設、介護・福祉施設、商業施設として利用 ■取り壊しのアスベスト対策 ■五泉アピール館の建設 ■ニット産業や農業との連携	31 31 33、105 34				
				施設の分散による集客力不足	■テーマパーク的な施設整備		143		
				生活圏域の分散	■コンパクトシティの形成による商業集積		107		
		29-5. 市場の活性化の推進	空き店舗、空き地の増加	■(公共)駐車場の再整備、休憩スペース、案内サインの充実 ■歩道のバリアフリー整備等 ■コミュニティバス停留所、休憩所、高齢者向け販売店の設置	38 84 106				
		⑤ 工業に活気のあるまち	30. 工業の活性化	30-1. 地場産業の活性化の推進	工業への事業支援の不足		■事業支援の強化 ■東北震災者の人材活用	42,116 42	<企業等> ・他業種との交流の場に積極的に参画することが期待されます。 ・研修会や勉強会へ参加することが期待されます。 ・付加価値の高い工業製品の開発・生産が期待されます。
				30-2. 工場の増設および企業誘致の推進	企業誘致が進まない		■立地メリットの明確化 ■既存企業への意見聴取、関連会社への働きかけ ■官民連携の誘致強化による若年雇用の確保	41,43 41 113	
30-3. 中小企業者の経営の安定化と近代化の推進	工業団地へのアクセスの不備			■新潟市とのアクセス道路の整備や高速道路IC開設による工業団地の整備	43,47,118				
30-4. 新たな産業の創出	地場産業の弱体化			■低迷地場産業に代わる新たな産業の育成・支援 ■五泉ならではの水に特化した産業おこし、アイデアの募集 ■五泉ならではの素材の大学等との連携による高付加価値化	45 114 117				
⑦ 農業を育成するまち	32. 農産物のブランド化と安全で安心な食の推進	32-1. 農産物の五泉ブランド確立と生産の推進	魅力不足、PR不足	■農産物のブランド化の強化(中山間地の米、里芋、レンコン、竹の子、ブドウ等) ■ブランド農産物のPRの強化 ■農産物を活かした観光施設の整備	120 125,126 50	<市民> ・地元の農産物を優先的に購入することが期待されます。 <農業経営者> ・付加価値の高い農産物の生産が期待されます。 ・環境に優しい農業経営を心がけることが期待されます。 ・関係機関、団体が実施する各種研修会等の場へ積極的に参加することが期待されます。			
		32-2. 流通体制の整備と販路拡大の推進							
		32-3. 地産地消の推進							
		32-4. 環境保全型農業の推進							
		32-5. 産学官連携の推進	販売力が弱い	■加工品の開発(大学や研究機関等との連携)による販売力の強化	49				
	33. 安定した農業経営と担い手育成の支援	33-1. 安定した農業経営と担い手育成の支援	経営の弱体化と担い手不足	■農業への興味促進、気軽な就労支援 ■農業法人として大規模化	129,130 131,132	<市民> ・安全、安心な地元の食材を積極的に取り入れることが期待されます。 <農業者> ・農用地の集積に積極的に参加することが期待されます。 <農業団体> ・安定した農業経営の確立や担い手育成に向け、指導や研修会等積極的に取り組むことが期待されます。			
		33-2. 農用地の集積及び流動化の促進							
		33-3. 中核的経営体と複合営農による安定した農業経営の確立							
		33-4. 耕種農家と畜産農家の連携推進							
	34. 農地、農村の環境整備	34-1. 生産基盤整備の促進				・生活雑排水の適正処理に努めることが期待されます。 ・農地や農業用施設の持つ多面的な機能を充分理解することが期待されます。 ・地域住民が一体となった農村環境の整備が期待されます。			
		34-2. 農地・農業用施設の維持管理の推進							
		34-3. 農村集落道の整備の促進							
		34-4. 農業用水の水質の保全							
	35. 森林資源の利活用と保全	35-1. 森林の育成と保全	森林資源の活用・管理の不備・不足	■廃材の有効利用(ペレット、堆肥等) ■森林観光・レクリエーションの推進(小山田花見山の整備) ■森林整備・維持管理への支援	127 128 146,147	・森林を憩いの場として活用することが期待されます。 ・体験イベント等の環境保全活動に積極的に参加することが期待されます。			
		35-2. 森林の総合的活用の推進							
35-3. 林業基盤整備の促進									
35-4. 特用林産物の振興									
35-5. 森林病害虫の防除									

重点課題	該当施策	前期計画における「取り組み」	問題点	改善方法	意見番号	前期計画における「市民の役割及び期待」		
② 安心して医療をうけることができるまち	18. 保健・医療・福祉体制の充実	18-1. 地域医療体制の充実	診療科目の不足・不備 (産科、眼科、耳鼻科、皮膚)	■地域医療体制の充実(市内開業医等による医療の充実など) ■少子化対策としても早急に産科の開院を ■南部郷総合病院への支援・病院の強化	14,23 15,19 17,24,90,92	・夜間の救急医療機関や土日・祝日の急患当番医を把握しておくことが期待されます。 ・緊急時の対応について、あらかじめ家庭や地域において話し合うことが期待されます。 ・医療機関は、一次医療と二次医療の役割分担を明確にし、持続的な医療体制の整備に努めることが期待されます。		
		18-2. 救急医療体制の確保と充実	医療体制の不足・不備 (病院数、医師数、救急、地域)	■救急医療体制の充実(救命救急士の人材育成など) ■県内総合病院等との連携 ■終日診療体制の構築	18,88 20 87			
		18-3. 保健・医療・福祉のネットワークづくりの推進	(削除)					
		18-4. 健康危機管理機能の強化		■保健所の位置の見直し(新津→五泉へ)	94			
	19. 社会保障制度の円滑な運営の推進	19-1. 国民健康保険財政の健全化	国保加入者の健診受診率が低い 健康保険財政が不健全	■実態調査、個別面談、呼びかけ等の推進 ■滞納者に対する収納率の改善 ■健診促進による早期発見早期治療、医療費削減→施策17-3	13 89			
		19-2. 高齢者の新たな医療制度への移行	高齢者の医療費負担の増大 社会保障制度が複雑 施設入所待機者の増加	■町内単位で健康づくりの推進・健康相談の充実→施策17-3 ■(仮)老人特区による規制緩和、職員の待遇改善→施策17-3 ■お茶の間サロン等を利用した個別説明の実施 ■地域ぐるみの健康・予防体制づくり	21 91			
		19-3. 国民年金制度の周知						
		19-4. 生活保護世帯の自立推進	生活保護体制が不明確	■実態調査とそれに応じた見直し ■生活保護者の自立促進、ボランティアの養成	22,95 96			
	③ 積雪にすばやく対応できるまち	25. 雪害対策の推進	25-1. 歩道除雪の推進		■除雪体制への理解・協力		102	・路上駐車や道路への雪出しの防止などにより、除雪作業へ協力することが求められます。 ・地域ぐるみで助け合いながら除雪を行うことが期待されます。
			25-2. 道路除雪の推進		■主要幹線道路の拡幅		98	
25-3. 消雪パイプ整備の推進				■地域間格差の解消 ■除雪から融雪へ(地熱利用等)	97 99			
25-4. 地域と一体となった除排雪の推進			除雪体制の不足・不備(空き家も含)	■町内での除雪体制づくりと支援の強化(除雪機械の貸与等)	26,27			
25-5. 生活弱者への支援			弱者世帯の除雪対策の不備	■自主防災組織(地区防災委員)の活用・確保	25,28,29, 100,101			
⑨ 税金が効率的に使われているまち	50. 行政評価の推進	○行政評価の構築						
		○集中改革プランの推進		■人口減少・流出を防ぐための、五泉ならではのサービス体制づくり	136			
		○行政評価制度の多面的な活用	行政評価の低下	■民間との連携推進	140			
	51. 業務の効率化の推進	○民間活力導入の推進						
		○行政評価制度の活用の推進						
		○電子市役所の構築	市役所業務の非効率性・サービス不十分	■IT活用による業務の効率化の推進	54			
	52. 組織・機構改革の推進	○広域行政の見直し						
		○機能的な組織の構築		■各課における専門的立場からの工夫	142			
		○民間委託、指定管理者制度の推進						
		○ICT技術の活用						
	53. 人材育成の推進	○窓口のワンストップ化の推進		■市民への情報公開・サービス・接遇の向上	56,59,60			
		○各種研修や県などとの人事交流による人材育成		■職員の意識改革	137			
		○業績・能力評価による昇給への反映						
○若手職員及び女性職員の積極的登用								
54. 地域情報化の推進	○コンプライアンス(法令等遵守)の徹底							
	○地域の情報化の環境整備							
55. 温暖化防止対策率先行動の推進	○電子市役所の構築							
	○環境マネジメントシステム(EMS)の認証取得							
	○グリーン購入指針の策定	温暖化対策の不足・不備	■ISO14001の認証取得による「環境都市五泉」宣言	138				
	○新・省エネルギー設備の導入							

重点課題	該当施策	前期計画における「取り組み」	問題点	改善方法	意見番号	前期計画における「市民の役割及び期待」
その他	5. 芸術文化の推進	5-3. 文化施設の充実	施設の建設	■美術館の建設	144	
	6. 図書に親しむ環境整備の推進	6-4. 施設整備の推進	施設駐車場の不足	■図書館の駐車場の拡張	62	
	9. 障がい者の自立と社会参加の支援	6-1～6	弱者対策の不足・不備	■障がい児に対する生活・学習・就労支援(支援員等)、施設対応の強化	63,65,67	
	12. 子育て支援の充実	12-3. 子育て支援のネットワークづくり		■子育て支援の自主サークルの増強	64	
	13. 援助を必要とする子どもと家庭の自立への支援	13-1～4		■自殺やDVの事前予防(人材育成、ゲートキーパー養成講座等)	66,68	
	14. 健康づくりの推進	14-1. 総合的な健康づくり事業の推進 14-2. 地域の健康づくり活動の推進		■総合的な健康づくり事業の推進	85	
				■地域の健康づくり活動の推進	85,86	
	17. 高齢者福祉・介護保険の充実	17-3. 施設サービスの充実		■施設サービスの充実	69,93	
	21. 交通安全と防犯の推進	21-1. 交通安全意識の高揚	高齢者の交通安全対策の不備	■免許返納の推奨(呼びかけ)・工夫(代替特典等)	71	
	22. 地球環境の保全	22-2. 自然環境の保全と再生の推進		■自然環境の保全と再生の推進	119	
	24. 防災意識の高揚と防災施設整備の推進	24-2. 防災体制の整備	町内に自主防災・防犯体制がない 災害対策(避難所)の不足・不備	■自主防災組織を形成し、町内組織力を強化する	4,5,61,74	
				■防災無線の活用強化	72	
				■災害発生時における弱者対策の強化	73,77	
				■避難所の運営対策の強化(弱者対応等)	75,76	
	27. 地域における福祉活動の充実	27-1. ボランティア・NPO活動の育成支援		■ボランティア・NPO 活動の育成支援	70,80	
44. 市民との協働の推進	○市民協働のためのルールづくり	市民の直接参加の機会の不足	■重点事業に対する寄付募集・住民税控除	139		
			■100人委員会、各町内会の小委員会の場づくり等	141		
48. 情報公開と説明責任の充実	○わかりやすい情報公開の推進	税金・補助金の使途不明確	■外部組織による評価・検証	55		
49. 財政健全化の推進	○受益者負担の適正化・市有財産の利活用	施設利用の無料化	■維持管理費に対する理解の推進	57,58		
その他		合併後のまちづくりの方向性が弱い	■少子高齢化に対応した福祉・医療・教育が連携したコンパクトシティの形成	145		

班	重点課題	No.	問題点	改善方法
A	①高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち	1	高齢者の社会参加の在り方	単に楽しく過ごすだけでいいのか
		2	男性高齢者の社会参加、交流の場に出る人が少ない	男性高齢者が喜んで参加する会合の企画(男の料理教室を町内会単位で行う)(市主催の健やか元気塾)町内単位で希望する行事など聞き出す
		3	高齢者が気軽に集う会がない 健康作りの場	天候のよい5月～9月朝6時30分から町内会単位ラジオ体操を実施。夏休み期間は子孫とも一緒に出来る打ち上げ会等して交流を深める。すこやか元気塾。
		4	防災、防犯に対応する為の自主防災組織作りが遅れている	町内会長の1年持ち廻り制などをやめる(町内会役員になり手が無く仕方なしに実施している)団塊の世代に町内会役員に関わることのPR
		5	緊急時の対応(自然災害)家庭・地域の体制整備	町内会組織機能の強化を計り町内の防災・防犯組織を作り連携を強化。
		6	団塊世代の知識・能力を発揮できる環境づくりができていない	現状はどのような組織があるか、わかってないのがほとんど。より一層のPR。
		7	「高齢者」と言っても幅が広くひとづくりでの対応に無理がある。老人クラブの会員数減少について。	高齢化により親子2世代に渡り会員対象となる事が考えられる為、子世代が加入しづらいのではないかと60代はシルバーサークル、70代はゴールドサークルなどとして段階的な(年齢の区切りとか)会員対象を促す。
		8	施策全体的に、元気な高齢者向けではないか?	要介護・要支援・未利用(申請)の分けへだて無く、利用できる「場」の提供。空き店舗や空き家を利用して、民間活力を支援。例:新潟市「うちの実家」
		9	「高齢者独居世帯の増加」と「高齢者ボランティア」の促進に。	現在JAで行っている「お弁当サービス」(週1@300円昼食)を充実させるか新規でかはさておき「夕食」にまで広げてみては。後々給食センターも再利用できないものか。そこでの調理を高齢者ボランティアに頼ってみては?
		10	高齢者がいきいき生活する為には個々に応じた対応が必要。問題点が行政にまで届きにくい。	「傾聴ボランティアの育成」(高齢ボランティア?)必要に応じて、行政と連携し、問題点を吸い上げ、検討していくシステム作り。コーディネーターが必要。
		11	高齢者の社会参加の場が少ない	働くママを支援する為に、高齢者による託児所を設営する
		12	高齢者が生きがいをもてる場が少ない。	高齢者がそれぞれもっている能力(盆栽、陶芸、絵、知識)を講座として開設
	②安心して医療を受けることができるまち	13	健診受信率県ワーストランキングの常連。生活習慣病の早期対策の遅れなど	連続未受診者に対しては個別面談をし、実態を調査し受信を勧奨する。(老人クラブ・お年寄りサロン・自主防災組織)を通しての呼びかけ、誘い合い。
		14	眼科、耳鼻科、皮フ科が足りない。	メディカルタウンとして誘致する。
		15	産科の医院が無い、安心して子供を生み育てることができない	行政が全面的に乗り出して解決にあたるべき 人口の減少、産業の衰退にもつながる最重要課題 大幅な税金投入もやむなし。
		16	特に子育て世代や介護をしている者へ対して、大企業では感染症対策が出来ていたが…→家族内で罹患者が出た場合、休みになったこと→新型インフルエンザの時	中小零細企業に対しても、ワークライフバランスの徹底を働きかける。(商工会議所を通してみたら?)
		17	産婦人科医院がなく五泉市内で出産できない	行政も約束していることなので早急に開院(開科)の実現をしてほしい。
		18	三次救急医療体制が無い	救急救命士の人材育成。→今、五泉で何名でしたっけ?
		19	産科医確保(重要!)	個人開業医があればいいが、南部郷HP等で、設備、医師、助産師の確保を支援してはどうか?
		20	市内の病院・医師不足	医師は県境を越えて診療が出きないため、県内の大病院などと提携して、出先機関を設置する。
		21	高齢者に対する社会保障制度が複雑過ぎて分かりにくい	お茶の間サロン等で、少人数で1人ひとりに応じた説明をしたらいい。
		22	生活保護率の増加(支給しっ放し?)	現状がよく分からないが、現金一括で払っているならば、その支給方法も検討すべきだと思う。報告などはあるのか?
		23	医師不足	予算不足
		24	新潟市内の大病院へ入院してリハビリする不便 地域医療の充実(産科・整形外科で入院できない)	真仁会グループ南部郷病院で緊急も含め、手術を受けられるシステムをつくってほしい
	③積雪にすばやく対応できるまち	25	高齢者世帯への支援	防災組織に組み入れ除雪体制及びその他の支援を行う
		26	雪害対策	五泉市全市内、町内ごとにボランティア組織をつくる。つくったらいいが…。
		27	積雪にすばやく対応できていない	市民がよりすばやく除雪を望むのであれば、除雪機械の貸与や建設業者への負担軽減策を考慮すべきである。
		28	近所つきあいの復活	
		29	高齢者、赤ちゃんのいるひとり親家庭、障がい者等へ	地域コミュニティに頼る他ないと思うので、自主防災組織やらで予め把握しておき玄関から通りまでの除雪程度であれば地域での協力を促す。
	④商業に活気のあるまち	30	商店街としての魅力のある店舗が少ない	店舗デザイナーの斡旋や店舗改装時の補助金の助成
		31	五泉市中心部にある旧ジャスコ跡地問題 外観上や防犯・防災以上にも問題がある	早急に取壊し、公園・避難所等、市民のコミュニティーの場とすべき
		32	「まちの駅」の活用 利用する人が少ない	・ギャラリー(作品展)の開催などでまず利用客を増やし知ってもらう ・市外の人用に案内看板の設置
		33	旧ジャスコ跡地、駅前通り中心街に荒廃したビルある、商店街の衰退につながる。	介護・福祉施設の建設地として活用を考える 商業施設の併用
		34	商店街に活気がない	漠然的だが商店とニット業・農業が一体となった、ビルの様な建物はどうか? 五泉産、旧ジャスコの様なもの
		35	魅力ある商店街作り	地域振興券の発券による活性化により内容の魅力作り
		36	商業の活性化が必要	車社会へと移行しているので、大きな駐車スペースを持った集合販売施設の建設を行う
		37	会議ができる商店街にしたい	売る方、買う方の話し合いでどうか
		38	商店街ににぎわいが無い。	とにもかくにも、駐車場が無く、買物をする環境にないので、駐車場の確保と分かりやすい案内表示。
		39	商店街ににぎわいが無い。	駐車場も確保したうえで定期的に(半年に1回とか、2か月に1回とか、毎月とか)「歩行者天国」にする。店頭販売やフリマ等、市民参加にして子ども向けにも配慮。
		40	商店街ににぎわいが無い。	根本的な問題改善には「市」よりも商店街そのものが力をつけなければならないので、商工会青年部等を支援・後援していく。民間活力の活性化。(五泉・村松両地区共に既に頑張っているが)
	⑤工業に活気のあるまち	41	企業誘致が進まない	五泉より条件の良い地域でも企業誘致は難しい。五泉の売りは何なのか、しっかり把握して推進すべし。現在進出している企業から五泉の良さ、問題点を調べ、その関連会社等に働きかけるのが近道
		42	工業関係企業へ事業支援が不足	事業費の増額を行い行政との連携を強める
		43	企業誘致による工業の活性化が必要	新潟市内と結ぶしっかりとした道路を作るか、高速ICを作り、その付近に工業団地を作り企業誘致を積極的に行う

班	重点課題	No.	問題点	改善方法
A	⑥魅力ある労働環境を提供できるまち	44	魅力ある労働環境	60才～65才の退職数が多いが、シルバー人材センター以外で一時的でよいから雇用はないものか(団塊の世代が多く自宅にいます)
		45	就業率の低迷	ニット製造業等今までの特色ある産業に特化した行政の支援
		46	五泉市内に雇用が少ない	五泉市内の業種ごとに五泉市内業者で対応できることは、市内の業者で対応する様な仕組み作りを行う
		47	五泉市内に雇用が少ない	新潟市内と結ぶしっかりとした道路を作るか、高速ICを作り、その付近に工業団地を作り企業誘致を積極的に行う
		48	若い世代に向けた企業誘致。	商店街の空き店舗などを提供してもらい、若年層の起業を後援する。UJターンにも期待できる。
	⑦農業を育成するまち	49	消費者への販売力	加工品の開発による販売力の強化
		50	安定した農業経営と担い手育成の支援が必要	農産物の収穫を基本とした観光施設を作る
	⑧公共交通機関が利用しやすいまち	51	磐越西線の利便性の向上 北五泉駅の周辺整備	反対側のホームへ行かなくても良い事と新潟までの運賃が安い事で北五泉駅の利用が増えています。無料の駐車場や送迎の車の利便性を良くすれば利用客は増加すると思います。
		52	公共交通機関の更なる利用改善が必要	高齢者(老人クラブ等)にアンケート(学生や高齢者に)を行い公共交通機関の利用改善を詰めに働きかけ対応してもらおう
		53	ふれあいバスの効率的利用	乗合タクシーの活用。ふれあいバスの時間別の乗車率や利便性をチェックし、みなおす。
⑨税金が効果的に使われているまち	54	市役所業務の効率化	IT化が進んでいますが、まだ情報の共有化が必要、不必要と思われる書類が多すぎ。	
	55	税金が効果的に使われているか検証が必要	もし検証が必要であれば(私は不要だと思う)第三者団体か市民の委員会を立ち上げ、それぞれの組織を検証してもらえば良いのでは	
	56	市民から理解が得られかつ納得性が高い施策を進める仕組みになってない	行政改革を市民にわかりやすく、眼にふれる形でいき、歳入の減少があっても市民サービスの向上をはかるため市職員全員、特別職を先頭に職務にあたる	
	57	施設利用の利用料免除により、無料で使用できるのは今の時勢に合っていない。	全額負担とまではいかなくとも、どこの団体でも会費のやりくりはしているであろうから、数百円程度なら負担金あって当然だと思う。有償があたり前にしていかないと。	
	58	各種団体の補助金について。	毎年のことで、あたり前に出している補助金について適正に使われているのか、団体の運営について適正か、担当課以外からの評価が必要では。	
	59	役所のたらい回し。	ワンストップで問題改善。	
	60	市役所職員の窓口の対応について不満がある事がある。(ごく一部でしょうけど…)	様々な場面もありまじょうが、まずは笑顔で挨拶は今から誰でもできる事。電話の際はまず名を名乗ること。(常識的なことですが)	
その他	61	発達障がい児の理解と学級運営、本人に対する学習サポートについて。	県でボランティア制度がある「支援員」を市できめ細やかに人材育成すると共に、長い年数・地域でサポートすることができるようにする。	
	62	図書館の駐車場について。まだ足りない。	3Fにあればだけのキャパを備えているのに、駐車場が手狭なので周辺での土地の整備をしてはどうか。	
	63	障がい児の就労。	個々に違うので、それぞれに応じ、無理のない範囲で就労を促す必要があるが、押しつけにならぬよう、当事者らの意見をよく聴くことから進めていくといいと思う。	
	64	子育て支援の自主サークルの減少について。	逆に危険性が無いわけではないが、ネットを活用した子育て情報の発信ができないか?管理者をきちっと置き、意見も取り入れられるのでは?ただし、ルールを徹底しなければならないが。	
	65	敬老会や成人式等でも障がい者に配慮すべきだし、体育館のような所で音響もよくない、聞こえにくい。	要請や問い合わせがある前から、企画の段階で手話、要約筆記をつければよい。また、それら技術者らの活動場の提供になる。	
	66	乳幼児、高齢者など社会的弱者に対する虐待について。(DV含む)	起きてからではなく、起きる前に身近で動ける(気付ける)人材の育成。現在、子どもは母子推・高齢者は民生委員のように役割分担みたいになっているが、連携を密にして、もれが無いようフォローすることができるよう。	
	67	まだまだ、各種イベント時に障害に対する配慮が足りていない。(手話通訳・要約筆記等)	不特定多数の方の呼びかけをする企画であれば最初から、手話通訳・要約筆記をつければよい。	
	68	自殺予防について。	精神保健に対する理解促進は必要なので、引き続きかもしれませんが、「ゲートキーパー養成講座」を市民向けに開催。	
	69	年々増加している高齢者も個々に違い状態も様々であり、同じ施設のサービスに無理がなくはない。	ある程度、段階的に目安となるよう配慮があるといいのではないかと?例えば一次医療から二次、三次とあるように、デイサービス等でも、比較的、介護度の低い方対象や、介護度高い方対象施設。のような。	
	70	手話通訳・要約筆記の技術者が少ない。	既存の養成講座ステップアップ講座や民間サークルを通じて人材育成する。	
	71	高齢者の安全について 運転免許証の返納のきっかけがない。	本人はなかなかきっかけがつかめないのであろうから、例えば「〇才で返納していきましょう!」と促進していくと家族からも声掛けしやすいのでは?あわせてコミュニティバス等、利用券や商店街割引等しては?デリバリーもいいかも。	
	72	災害時に実際市のHP緊急情報が後手後手だったこと。	災害の種類にもよるが、停電になってしまえばPCは利用できない。形態もつながりにくい。となると、市内全域に行き渡る防災無線は強いのではないかと?毎日定時に鳴らすチャイムも子ども達にとっても便利。(東京都の場合(区)17:00にからす~♪)	
	73	災害時の学校での対応。東北大震災の際、集団下校となったが、留守宅もあったろう。余震の中一人で留守番。	個々の状況にもよるが、予定外に早く下校となるより、学校で待機という方法もあったのでは?学校毎で話し合い、保護者に周知しておいた方がよい。緊急連絡の見直し検討しておく。	
	74	非常時、避難所での弱者への対応策があるか?発達障がい者や聴覚障がい者ら、見ただけでは理解されづらい障害への対応。	地域での自主防災組織で予め把握が必要。個人情報ではあるが、地域の理解は災害時に限らず日常でも必要となる事から、本人らの承認の上、地域でも理解し合っていくよう、促す。	
	75	避難所の備品について。アレルギー患者の増加をふまえて…	アレルギー対応食が必要。粉ミルクもアレルギー対応のものも準備が必要。	
	76	避難所の運営について。統括するのはどこか?建物は市、中身はボラセン、健康については市福祉課、と諸々で利用する側も、おそらく職員間でも動きづらかったのでは?	建て前上、市長のもとなのでしょうけど、実際に現場で動ける人間で統括する者が必要だと思う。連携協力が必要だが、分担では成り立たないと思う。	
	77	福島から避難してきている方々への対応。(特に妊産婦、乳幼児の親子等)	お互い様精神で、困った時こそあたたかく迎え入れて欲しいです。「5つの基本政策」にもあてはまるよう、柔軟にしながら個々に応じた対応をして欲しいです。(現状でもかなり、良くやって下さっているようで、ありがたいです。)	

班	重点課題	No.	問題点	改善方法
B	①高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち	78	老人クラブという名前を変える	シルバークラブとか、若々しい名前に
		79	老人クラブというクラブ名は、イメージが悪い	名称変更をしてみてもうどうだろう。今は、60才はバリバリ。老人と呼ばれることに抵抗があるのでは
		80	支え合いの共同体づくり	NPO等の目的別結社を積極的に推進し、高齢者を人材として役割参加を促す
		81	習い事をしたい、専門的なことを学習したいと願っても受け皿がない	学習したい内容を洗い出し、カルチャーセンター等の充実を図る。(ヒップホップ、料理)
		82	高齢者のボランティア登録人数が、目標を未達成	ある程度対価が得られるような、(仮)有償ボランティアにする
		83	団塊の世代の大量退職が始まっている。まだまだ現役として活躍できる。技術も持ち合わせている。雇用の受け皿がない。	高齢者も大事な働き手と考え、雇用促進に力を入れる
		84	体力の低下により(足が悪くなる)外出することが億劫になる	手押し車、電動車、車イスなどが、障害なく通行できる歩道の確保、整備
		85	高齢化社会に伴う市の医療費負担増	高齢者に合ったスポーツ教室の開設。公民館や集会場などでの出張健康教室
		86	体力の低下により(足が悪くなる)外出することが億劫になる	現在、各町内単位で実施している「いきいき体操」等の充実。プラスその場で健康相談や血圧測定などの実施
	②安心して医療をうけることができるまち	87	地域医療体制の充実	終日診療できる総合病院が欲しい
		88	救急医療体制の確保と充実	救急患者の受け入れがスムーズに行く様な方向に。なかなか患者の搬送が大変と聞いている
		89	保険税の値上げによる収納率の低下	滞納者への優遇措置(若干の免除等)による収納率の改善。
		90		南部郷総合病院の強化
		91	国民健康保険財政の健全化	市民に対しての意識改革で、毎年総合検診を受診し、早期発見早期治療に努め、医療費削減に
		92	専門的に細分化したシステム医療の中で、地域医療が崩壊してきた	南部郷総合病院の空床利用で、診療科を総合して診る。総合医療を目指す
		93	介護老人福祉施設等への入所が何年も待たなければならない	(仮)老人特区をもうけ、法律の規制緩和(老健、特養)を図る。施設職員の給与を倍にする
		94	地域医療の中核となる保健所が、新潟市内(担当区域外)に所在している	新津保健所を、担当区域の五泉市内に移転する
		95	生活保護世帯の自立促進	本当に困って受けているのならいいけど、不当に受給している人もいるのではないかな。確実な調査を
96		働かなくても生活していけるというマイナス意識が定着してしまう	生活保護を受けている方には、月の半分くらい個々にあった事を奉仕活動をしてもらう。就労が可能な方には、そこに結びつくような、企業での奉仕活動等	
③積雪にすばやく対応できるまち	97	消雪パイプの整備が地域によって異なっている	計画的に消雪パイプの整備を進めていく。地域格差による不公平感をなくす	
	98	除雪した後、道が狭くなる	主要幹線道路の整備(拡張)	
	99	少子高齢化、産業の構造改革の中で、除雪に無理がきている	「除雪」から「融雪」へ。地熱利用等で方法はないものか	
	100	生活弱者がSOSを出しやすい環境が整っていない	地区防災委員の立ち上がっているところに、除雪に対する協力支援も入れてもらうよう働きかける。団塊世代の協力等	
	101	除雪作業に携わる人が少ない	市で、人材の掘り起こしを。消雪パイプが古くなっている	
	102	歩道除雪が通勤、通学時間に完了しない	通勤、通学時間帯はカンジキで踏み固める。その後、ゆっくり除雪する	
④商業に活気のあるまち	103	商店街に空き店舗が増えにぎわいが無い	空き店舗をカラオケボックス仕立てにできないか。安価で皆で楽しめる	
	104	商店街に空き店舗、空き地が増えにぎわいが無い	若者(又は、退職後の年代の方)の起業の為の場所を提供、支援。起業の為のノウハウ、セミナーの実施	
	105	朽ち果てた用で広いスペースを取り、さびれた悪いイメージを与えている旧ジャスコビル(子供達の生活環境としても良くない)	税金投入も仕方ない状況なのでは、と思う。プラス寄付を募って、とにかく解体をするべき(どこの管理地なのか?) 五泉アピール館設置等	
	106	商店街に空き店舗、空き地が増えにぎわいが無い	コミュニティバスの停留所を空き店舗の前に設置。空き店舗を休憩所や、高齢者向けの商品販売店舗を兼ねる	
	107	枝の部分の議論では問題は解決しないと思います	生活と密着した部分の商業は、新しいまちづくりの中で検討。(コンパクトシティづくり、買い物難民を亡くすためにも、生活圏域をよせる長期計画)	
	108	商店街のにぎわい集客について、車に対する集客力が少ない	商店街に近い公共的な駐車場が必要。物産館や道の駅などと組み合わせて、市民が利用できるスペースが欲しい	
	109	商店街に活気が無い	核になるような、大規模店舗を誘致する	
	110	歩道がデコボコ、アーケードも小間切れで、散策、ショッピングしにくい	歩道とアーケードの整備。歩いて楽しい町並みづくり	
	111	企業、工業団地や、市内へ、必要	大規模店の出店が多くなりつつあるが、商業的には大規模店と市と商店街の繋がる関係が欲しい	
	112	商店街に活気が無い	五泉市だけの特殊な商店街。観光とのコラボレーション	
⑤工業に活気のあるまち	113	若者の働き口が確保できない	工場誘致に官民連携して積極的に取り組む	
	114	全国的景気低迷により、企業誘致が進まない	五泉は、おいしい水が豊富。五泉の水を売り出しているようですが、それをもっと盛り上げて、広げていく。水に関係する産業おこし、アイデアの募集	
	115	企業誘致による信用の場の拡大	市で企業誘致を	
	116	地場産業の活性化	常に外部から人を誘致する事が大事である	
	117	ニット産業が低迷している	付加価値が高く、五泉市でないと入手出来ないものを開発する(例:電磁波吸着繊維等…大学と協同で)	
	118	工業団地への道程が不便である	高速道に(仮称)五泉I.C.を作り、団地へ直通道路を整備する	
	119	産業の空洞化の中で、今後とも無理ではないか	水と緑の生活圏に特化する	
	120	五泉ブランド確立	中山間地の米のブランド化	

班	重点課題	No.	問題点	改善方法
B	⑥魅力ある労働環境を提供できるまち	121	女性に不利な就業環境	五泉市特別雇用対策と銘打って、女性が就業しやすいトライアル雇用の推進と、一定期間の助成
		122	労働環境の変化に対応	福祉の町として、雇用増を図る。 素晴らしい生活環境を求めて、利用者が職員も集ってくる施策
		123	若者の働く場所が少ない	市議と市役所正規職員の人数を大幅に削減し、その経費で(仮称)準社員、アルバイト等を多く採用する
		124	高校2校、新大農学部など、つながりを強め、地元企業へ	労働、職場と若い人とのつながりを市とハローワークや学校、企業と合わせた対策があると良いと思う
	⑦農業を育成するまち	125	埋もれている素材を掘り起こす必要がある	農産物のブランド化に力を入れる(さといも れんこん たけのこ ぶとう等)
		126	素晴らしい素材があるにもかかわらず、広報活動が充分でない	ブランド化した農作物のPR (広報活動を大々的に行う。広報活動を戦略的、組織的に行う)
		127	森林資源の活用方法	・伐採木を利用し、ペレット(木質燃料)を作り、販売する ・剪定枝を利用し、家庭菜園の堆肥を作り、格安で販売する
		128	森林の総合的活用の促進	全国的にも珍しい、小山田花見山の徹底整備。観光客増に繋げる
		129	農業経営と担い手育成	市外から市内へ、農業的な就職が可能な形をとる。農業団体などの育成
		130	担い手の確保と育成	経験のない人が農業に参入するのは難しいが、農業指導員等を配置し、気軽に取り組める体制を整える
		131	小規模農業のみでの生活維持が困難な為、担い手が減少	会社組織による農業の確立により、興味のある人が農業に携われる環境づくりをする
		132	経営として成り立つ農業	農業法人として大規模化、雇用関係で新規就農者の増加を目指す
	⑧公共交通機関が利用しやすいまち	133	予約等、利用方法が高齢者(電話の応対も難しい場合がある)に使いがたい	移動制約者の利用パターンは特定されてくると思うので、民生委員、ケアマネ、包括センターとの連携をし、利用を促進
134		JR、バスの利用者の減少	SLの有効活用 ・さといもっこバス、栗バス、チューリップバスなどキャラクターバスの運行	
135		磐越西線は、新津駅での信越線(上り方面)の乗り換えが不便	JRと交渉し、不便さをなくす(署名を集める)	
⑨税金が効率的に使われているまち	136	人口減少を少しでも止めるため	・税金や、市のサービス ・新潟市や加茂市、田上と差別化する ・良いイメージを五泉市で持てるように	
	137	行政評価の構築	若い世代の職員のサラリーマン的なところ。市民のために仕事をするのだという心構えがある職員であって頂きたい	
	138	地球温暖化防止対策の推進が見えない(重点課題内の分類の位置?)	「エコアクション21」のさらに上のISO14001を認証取得し、「環境都市五泉」を宣言する	
	139	市民の市政に対する関心度が低い為、税金の使われた方の見方にも片寄りがある	各課の重点事業に対して寄付を募り、その寄付金を住民税控除の対象にする	
	140	行政評価の低下	行政の積極的な民間事業への参画を推進する	
	141	議会だけでなく、直接市民の意見をくみ上げるシステムづくり	(100人委員会、各町内会の小委員会の場づくり)	
	142	税金の利用について	市にはそれぞれの専門分野があると思う。各課の異動により専門分野と違う課へ移動になった時、専門知識がある人より、税金の使い方、企画立案について助言が必要	
その他	143	公園などが分散している	花やイベント、集客出来る内容で、テーマパーク的な場所、人の集まる場所を作りたい	
	144	美術館が欲しい	油絵、書道、写真等を発表したり、展示する専門の施設を作る	
	145	合併後の基本的なまちづくり	五泉・村松街道(平場、安全等)を中心にしたコンパクトシティづくり。少子高齢化に適した福祉、医療教育の連携したまちづくり	
	146	森林の育成と保全	森林組合でも限られた人数で施業している為、なかなか前に進まないのが現状です	
	147		高齢化が進み、山は荒廃してきているのが現状で、若年層は自分の山の境界もわからないのが今日です	